

八戸まちなか 保育所二一ズ調査報告書

～簡易版～

2016年3月30日

調査概要

対象条件：八戸IT・テレマーケティング未来創造協議会に所属する企業に勤務する、すべての従業員

調査目的：働くパパママに対し、八戸中心街に保育施設のニーズがあるか、
あるならばどんなことを求めるのかを探る

調査課題：①八戸の中心街の保育施設ニーズの有無

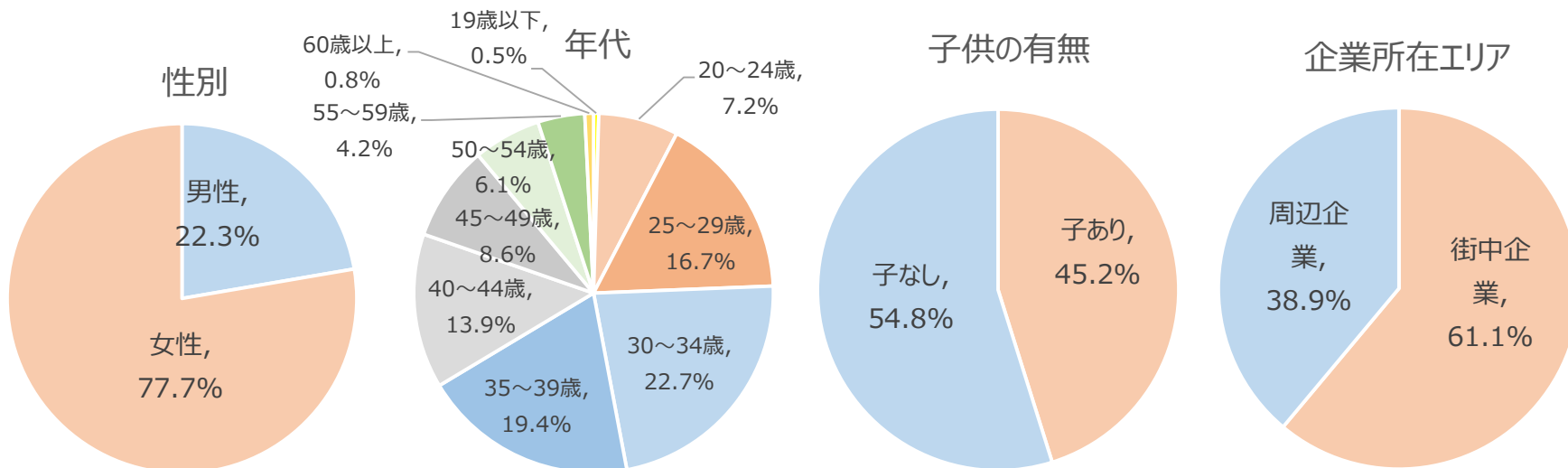
②働くパパママが、働きながら育児をするために保育所に求めること

調査方法：WEBアンケート

調査期間：2016年3月8日～3月18日

回答者属性

回答者合計：640s



GTサマリー

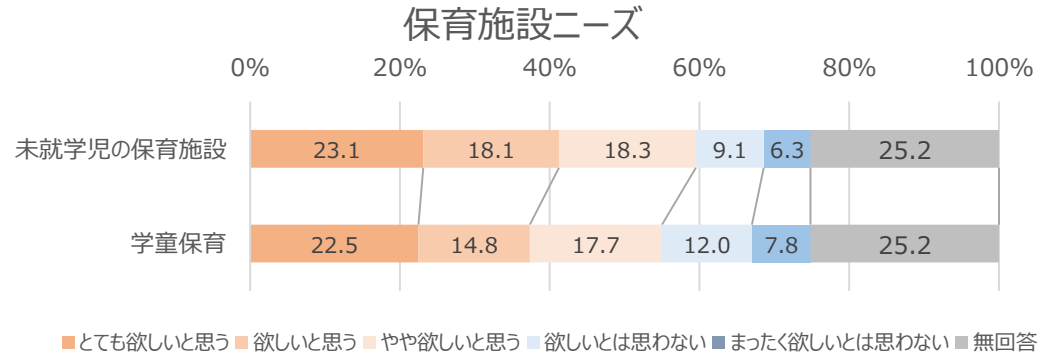
- 全企業（カッコ内はまちなか企業のみ）

- 男性 22%（27%）、女性 77%（73%）
- フルタイム 52%（53%）、パート週5日出勤 40%（36%）
- 未婚 47%（47%）、既婚 42%（43%）、離死別 10%（10%）
- 子供を一日中預けられる 27%（28%）、特定の時間・緊急時預けられる 42%（44%）、預けられない 32%（28%）
- 仕事をしながら、育児と両立したい 83%（84%）
- 乳幼児 26%（34%）、小学生 25%（31%）、中学生以上 46%（34%）
- 街中企業 61%、周辺企業 39%
- 保育施設は、職場から10分以内 22%（22%）、30分以内 85%（85%）
- 保育施設は、自宅から10分以内 70%（70%）、30分以内 99%（98%）
- 通っている（通っていた）保育施設に満足していること（TOP2）家からの距離・時間 64%（63%）、立地 62%（65%）、園内設備・環境 56%（58%）
- まちなかに保育施設がほしい（TOP2） 55%（58%）、学童保育がほしい（TOP2） 50%（50%）
- まちなかの保育施設で重要視すること（TOP2） 職員の質 83%（84%）、預かってもらえる時間帯が長い 78%（78%）、園内設備・環境 75%（77%）

まちなか企業…アパマンショップネットワーク、ウォーターワン、サラウンド、トゥルージョ、ノーザンライツ、Blazing、フルタイムシステム八戸、マーシュ、ヤフー、リゲイン
周辺企業…NTT東日本サービス、テルウェル東日本、マネックス証券

全体から見る保育施設ニーズ

回答者全体（n=640）の中で、まちなかに未就学児の保育施設が欲しい（TOP2）と答えたのは41.2%、まちなかに学童保育が欲しい（TOP2）と答えたのは37.3%と、全体の3～4割が保育施設ニーズを持つ。



しかし、妊娠中を含め、乳児、幼児、小学生といった保育対象年齢の子供を持つ人 = すぐに利用者になりそうな人の割合は、回答者全体（n=640）比の24.1%ほど。さらにその中で、まちなかに保育所が「とても欲しい」、「欲しい」と回答した人は、全体比11.1%となる。

八戸IT・テレマーケティング
未来創造協議会加盟企業で
働く人

保育対象年齢の子供を
持つ人
24.1%

まちなかに保育所が
とても欲しい&欲しい
11.1%

回答者全体の保育施設ニーズ → 3～4割

保育対象年齢の子供を持つ人の保育施設ニーズ → 1割



実際に保育対象年齢の子供を持つ人
以外の、ニーズを持つ人は誰？

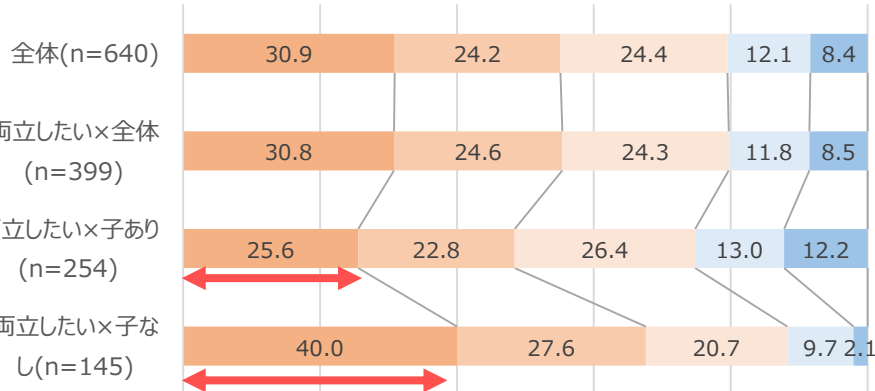
「仕事と育児を両立したい人」から見る保育施設ニーズ

「仕事と育児を両立したい」と回答した人（n=399）のうち、すでに子供がいる「子あり」に比べ、まだ子供がいない「子なし」のほうが、保育施設ニーズは高かった。

保育施設を“より”強く欲しい人（TOPBOX）で比較すると、子あり、子なしでは、未就学児の保育施設ニーズで14.4ポイント、学童保育で9.5ポイントもの差が見られる。

未就学児の保育施設

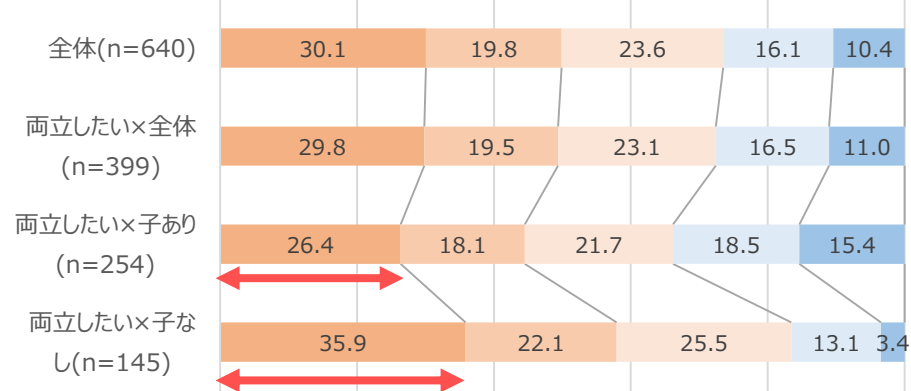
0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ とても欲しいと思う ■ 欲しいと思う ■ やや欲しいと思う
■ 欲しいとは思わない ■ まったく欲しいとは思わない

学童保育

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ とても欲しいと思う ■ 欲しいと思う ■ やや欲しいと思う
■ 欲しいとは思わない ■ まったく欲しいとは思わない

現在、保育対象年齢の子供を持つ親だけでなく、「仕事と育児の両立を求める、未来のパパママ候補」の保育施設ニーズが高いことが分かる。

あくまで推測に過ぎないが、現状の子育て環境への不安や、仕事と育児の両立への不安、最近の「保育所落ちた〜」の影響など、なんらかの要因が「パパママ候補」に不安を与え、強いニーズに繋がっているのでは。

自由回答から見る保育施設ニーズ

まちなかに保育施設/学童保育が欲しい理由と欲しくない理由の自由回答を見てみると、働くために必要なだけでなく、子供を連れていけない用事や買い物でのニーズ、まちなか活性化のためのニーズなど、いくつかの側面が見える。

	まちなかに欲しい理由	まちなかに欲しくない理由
保育施設	<ul style="list-style-type: none">残業しても安心時短勤務しなくても良い子供と一緒に居る時間が長くなる何かあったときすぐ対応できる職場が近い交通の便がいい <p>子供を連れていけない用事や買い物ができる</p> <p>まちなか企業が増えているのに保育所が少ない</p> <p>八戸市全体で保育所が足りない まちなか活性化のため 子供の育成は社会的意義がある</p>	<ul style="list-style-type: none">学区外自宅から遠い環境が悪い危険路上駐車が増える駐車場がない <p>対象年齢の子供がいない</p>
学童保育	<ul style="list-style-type: none">残業しても安心遅くまで一人で留守番は不安職場が近い送迎に便利長期休暇時に利用したい <p>まちなか活性化のため 子供の育成は社会的意義がある</p>	<ul style="list-style-type: none">学校からの移動が難しい学区外学校から遠い自宅から遠い危険交通量が多い <p>路上駐車が増える 駐車場がない 誘惑が多い</p>

「パパママ候補」以外にも、八戸のまちなかの活性化のためや、子供の育成は国を維持するために必要など、その人の子供の有無に関わらない理由から、「まちなかに保育施設が欲しい」と回答している人もいることが分かる。

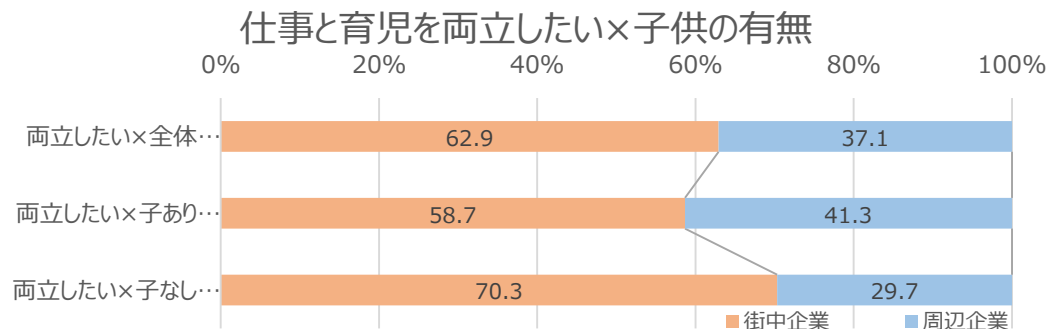
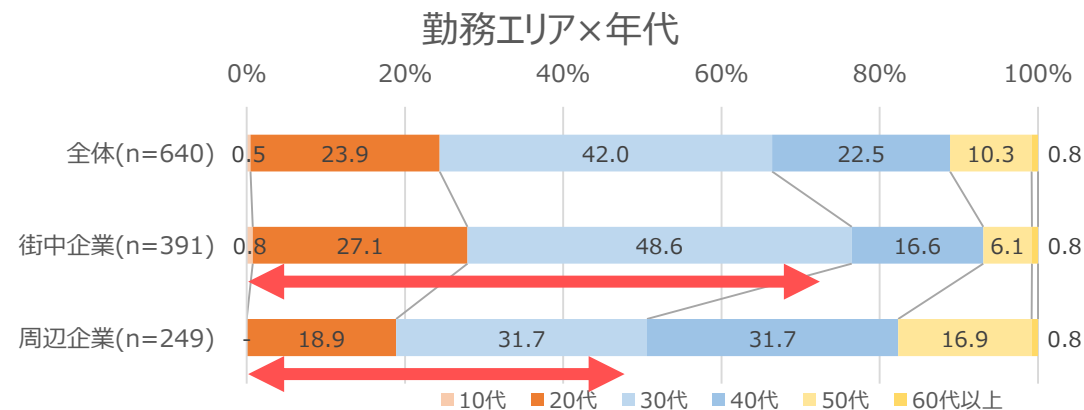
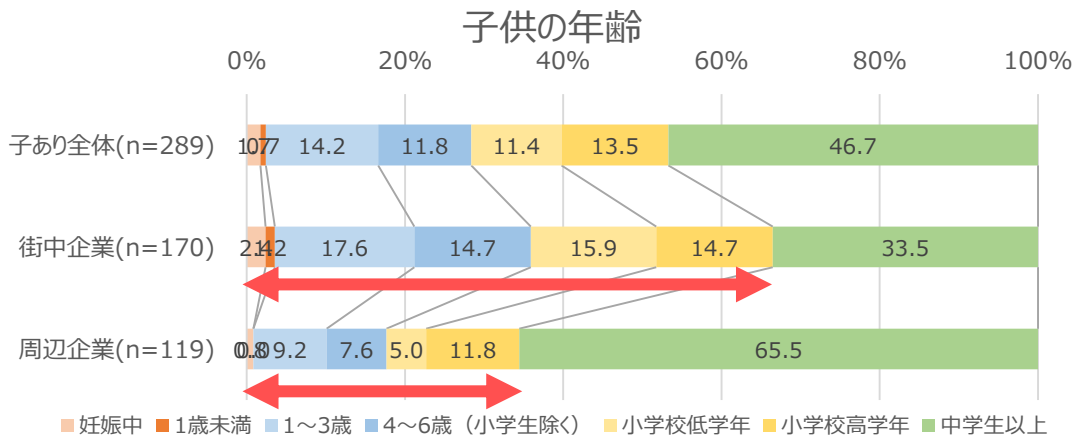
まちなか保育所利用候補者は？

すぐに入所が見込める層として、「現在保育対象年齢の子供を持つ親」が考えられる。

そこで、子供を持つ人に注目してみると、保育対象年齢の子供（妊娠中～小学6年生）を持つのは、まちなか企業に勤める人のほうが多く、周辺企業に比べると、32.0ポイントの差があった。

従業員の年代を比較してみると、周辺企業に比べ、まちなか企業の方が、20代30代の従業員割合が大きいいため、今後子供が増える可能性もある。（25.1ポイント差）

また、同様に仕事と育児を両立したい人（n=399）の中で勤務地ロケーションを比較すると、「子なし」のまちなか勤務率が高く、11.6ポイントの差となった。

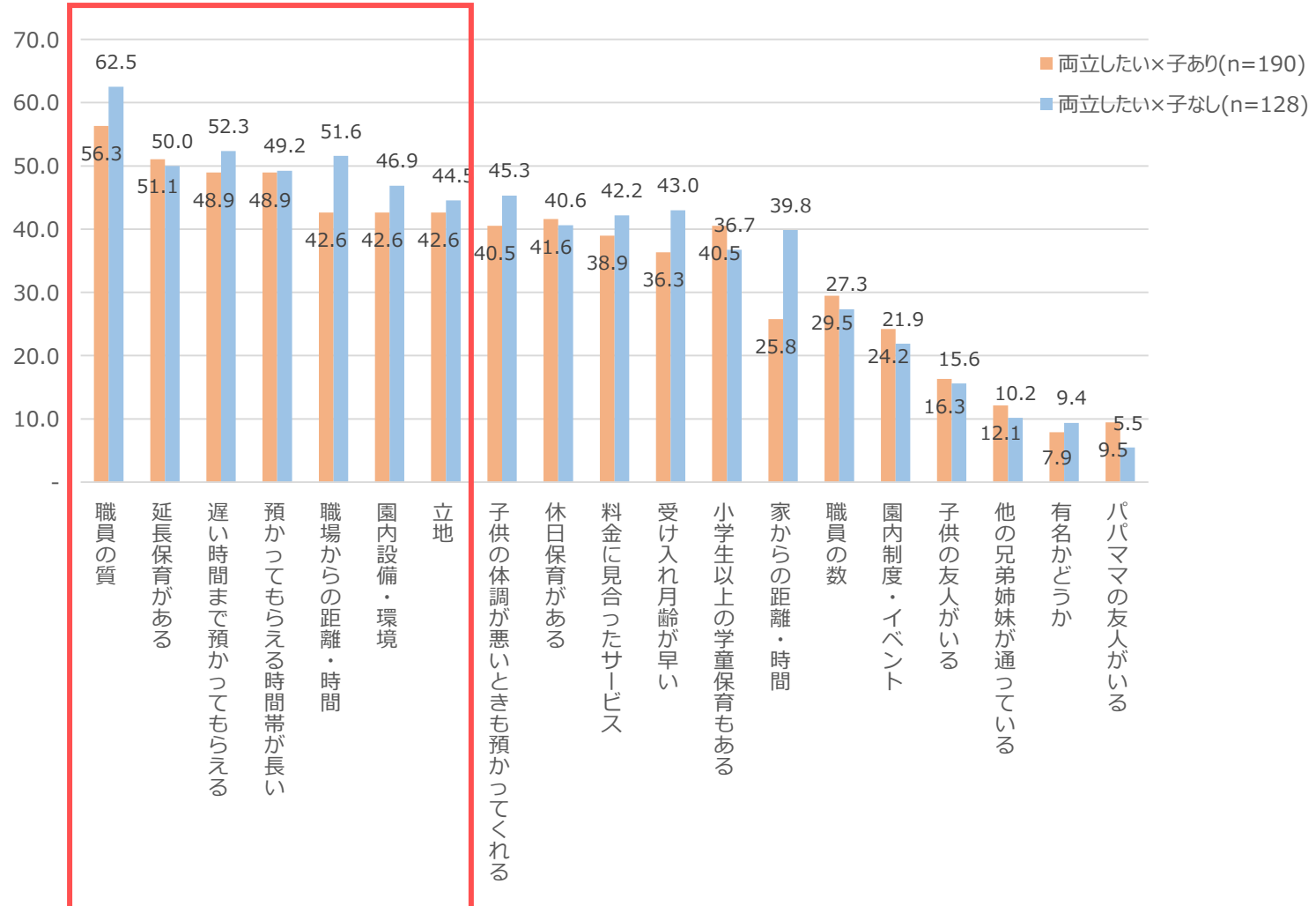


まちなかであれば、すぐに子供を預けたい人、将来的に利用したい人が、比較的集められそうな要素はある。

まちなか保育施設で重視する要素

育児と仕事を両立したい人が、まちなか保育施設で重視する要素は以下のとおり。

「職場からの距離・時間」「家からの距離・時間」は、現在子ありか、子なしかで結果に差はあるが、上位を見ると職員の質、延長保育、遅い時間まで預かってもらえる、預かってもらえる時間帯が長い、職場からの距離・時間、園内設備・環境など、「施設の質」「預かってくれる時間が柔軟」「立地」を重視することが推察される。



簡易まとめ

調査課題① 八戸の中心街に保育施設のニーズはある？

まちなかの保育施設ニーズはある。

しかし、現在子供を育てながら仕事も続けており、さらにまちなかに保育施設が欲しいと言っている人は全体の1割ほど。保育対象年齢の子供はいないが、まちなかに保育施設が欲しいのは、育児と仕事の両立を目指す将来のパパママ候補たちと、八戸市や日本の将来のために声を上げる人たち。

調査課題② 働くパパママが、働きながら育児をするために保育所に求めることは？

保育対象年齢の子供を育てるパパママと、将来のパパママ候補たちは、まちなか企業に多く勤めている。

この人たちがまちなか保育施設に求めるのは、「園としての質」や「時間に柔軟に対応してくれること」、「立地」である。